

日貿産業株式会社

横手市婦気大堤字高の森1-1

自動縫製機械の導入により熟練者の勘や経験、技術に依存しない高品質製品の安定した生産体制を構築

【事業計画名】 新型設備の自動機械導入による高品質製品の製作技術確立事業



パターンシーマーによる自動縫製作業の様子



導入したスポンジングマシン

取り組みの経緯

日貿産業はトップアパレルの一流ライセンス商品を中心に生産する縫製会社で、レディース物の高級コート・ジャケット・ブラウスなどをメインとしている。海外縫製工場でのアパレル生産が多数を占めるなか、縫製品質や少量・短納期の柔軟対応を重視し、同社と取引するアパレルメーカーは多い。

労働集約型の縫製業において、人手不足は深刻な問題となっており、同社でも人手不足による生産性の低下、技術力の低下が懸案事項として存在した。また、縫製未経験者を熟練したオペレーターに教育するには、相応の歳月が必要となる。技術者に頼るものづくりから、様々な機械の自動化により、熟練者の勘や経験、テクニックに頼らない、高品質で安定したものづくりを確立させるため本事業に取り組んだ。

実施内容

日本のアパレル製造業は分業化が進み、工場ひとつで服が完成することは少なくなっている。日貿産業では自社一貫生産（受注→縫製パターン作成→裁断→縫製→プレス→検品→出荷）が強みであり、短納期が実現できている一方、熟練者に頼ったものづくりとなっていた。

熟練者に依存したものづくりから脱却するため、最新のスポンジングマシン、パターンシーマー、人体プレス機を各工程に導入した。

特に、未経験者でも熟練者と同様の縫製を可能とするため、縫製データの作成、型押さえ作成、各部署への振り分けなど、生産システムの構築に力を注いだ。可能な限りのパーツを自動縫製にしたことで、未経験者でも精度の高い製品生産が可能となったほか、「ながら運転」による別工程とのワークシェアが可能となり、生産性が向上した。

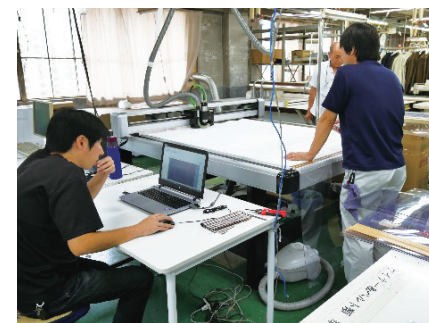
事業の成果

生地メーカーから納入された生地の原反（ロール状の生地）を裁断前に最新のスポンジングマシンで伸ばすことで、生地には内在する収縮、伸張、歪みが解消された。また、縫製が均一化したことで作業時間の短縮につながっている。

パターンシーマーを導入したことで、一部工程ではあるが脱技能化が進み、未経験者でも早期に戦力として活用できるようになった。固定した人材を必要としないことからワークシェアが可能となり、工程間の時間ロスが低減され、結果として製造リードタイムの短縮につながっている。



人体プレス機による加工の様子



パターン製作の様子



プレス後の製品例

当社は秋田県と横手市の誘致企業第一号として操業を開始いたしました。以来、50有余年の長きにわたり、社訓「Think」を基本に技術の研究・開発に努めながら、高品質・高感度な製品を創り続けてきました。ブランドは長い年月をかけて築き上げる信頼の証です。店頭に並ぶ各ブランドの伝統と信頼のすべては、私たちの製作技術が確かなものでなければ確立しないと考えます。業界をリードする信頼される企業となれるよう、今後も努力を重ねます。



生産管理課長
村田 英知さん

今後の活動予定

同社には生産ラインが複数あり、ラインごとに得意とする製品がある。ウールなどを加工する段階では、今回導入したスポンジングマシンを活用することで、生地メーカーでの縮絨加工（フェルト状の風合いを生む加工）を待つことなく、自社で縮絨加工→縫製作業が可能となるため、さらなる短納期が期待できる。

また、トレンチコートを得意とするラインでは、年間を通してコートを生産しているが、近年はメーカーの商品倉庫への搬入が減少し、直接店頭搬入が増えている。商品へ最高の「整形」を施せる人体プレス機の導入は出荷形態の変化にも寄与してくれると期待している。



日貿産業株式会社

代表者 代表取締役 村田 孝治
設立 昭和35年8月
資本金 9,900万円
従業員数 136名
業種 衣類・その他の繊維製品製造業
TEL 0182-32-8121
FAX 0182-32-8124
URL www.nichibo.net